

穂高広域施設組合新ごみ処理施設整備・運営事業に係る令和元年度
事後調査報告書の概要

3 穂高広域施設組合新ごみ処理施設整備・運営事業

(1) 事業の概要

① 事業者	穂高広域施設組合
② 事業実施区域	安曇野市
③ 事業の内容	廃棄物焼却施設の建設
④ 事業の規模	処理能力 120t/日
⑤ 条例該当	第1種事業：ごみ焼却施設（処理能力4 t/時（96 t/日）以上）
⑥ 関係地域	松本市、安曇野市及び池田町

(2) 事業の経過

H27. 12	環境影響評価方法書公告
H29. 9	環境影響評価準備書公告
H30. 2	環境影響評価書公告
H31. 3	対象事業着手報告書提出

(3) 事後調査報告書の概要

- 工事中における大気質、騒音・振動、水質、水象、植物、動物の調査結果を報告。令和元年度は、地盤改良工事等の土木工事、建築工事、外構工事、プラント工事を実施。
- 大気質
 - ・土木工事と建築工事が並行して行われた時期に建設機械の稼働に伴う一酸化窒素、二酸化窒素、浮遊粒子状物質及び降下ばいじんの調査を対象事業実施区域周辺1地点で実施。
 - ・二酸化窒素及び浮遊粒子状物質については、事後調査結果が環境影響評価時の予測結果を下回り、保全目標（環境基準以下）も達成。降下ばいじんについては、予測結果を上回った。
- 騒音・振動
 - ・土木工事と建築工事が並行して行われた時期に建設機械の稼働に伴う騒音・振動を調査。
 - ・騒音については、西側敷地境界において事後調査結果が予測結果を上回ったが、3地点全てで保全目標（環境基準等以下）を達成。
 - ・振動については、3地点全てで事後調査結果が予測結果とほぼ同等か下回るとともに、保全目標（規制基準等以下）を達成。
- 水質
 - ・掘削工事期間中の平常時及び降雨時の浮遊物質、濁度等を2地点（工事区域横、赤川下流）で測定。
 - ・「降雨時の現況の水質を著しく悪化させない」、「現況の河川水質を著しく悪化させない」という保全目標を達成。
- 水象
 - ・わさび田周辺3地点において、各月1回、水面標高を測定。掘削工事に伴う水位変動は見られず、湿地に対する影響も認められない。
 - ・対象事業実施区域内1地点において地下水位を連続観測。地下水位の顕著な低下は見られない。
- 動物

調査項目	事後調査計画	調査結果等
ハヤブサ	生息状況調査	H31年度調査：つがいが形成されたが、産卵の痕跡がなく、繁殖中断と判断。
コウフオカモノ アラガイ	生息状況調査	オカモノアラガイ類は7月調査では17個体以上、8月調査では11個体、9月調査では15個体確認。

※植物：前年度までの調査結果を踏まえ、クマツヅラ、アオガヤツリの保全計画を作成。